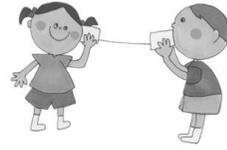


いと 糸でんわ



普段から意識しないと、そのまま何の疑問を持たない自分の「価値観(考え方)」も、みんなまで立ち止まって考えてみれば、ただの「思い込み」だったり、不十分な情報からの「先入観」だったりします。「みんなが言っているから…」と直接相手と話す前から先入観を持って接していたり、ネットの中にある不確かな情報を鵜呑みにしていたりすることもあります。自分はそんな先入観も偏見もないから大丈夫と思い込まずに、常に問題意識もっていることが、自分も他人も傷付けないことにつながります。

将来、今以上に多様な価値観が認められるようになり、自分も他人もすべての人が大切にされる豊かな社会を、自分たちで協力しながら築けるようにしましょう。

以下は、第3回目の人権学習「血液型占い」の感想です。

〔1組〕 前の「普通」についての話と今回の「思い込み」についての話は、少し似ているなと感じました。身のまわりでいうと、クラス替えをした時、色んな人からの「噂」で印象が悪かったり、性格とかも想像で決めつけていました。けれど、実際は聞いてみた「噂」と全然違って少し驚いたこともありました。まず、第一に物事は自分自身で確かめるのが一番だと思いました。人からの情報や血液型などの決まったものは、その人の個性をつぶすというか消してしまっているんじゃないかと思います。初めの方に決意文を発表したのも、その人本人のことを知ってもらうためだと思っています。本当のその人、偏見なく接することができたら差別もなくなると思います。

〔2組〕 噂や占い、血液型、性格などから、「思い込み」が始まっていると感じた。それを無くすには、まず、その人のことを知ることで、「思い込み」や偏見をなくせるんじゃないかと思いました。今日の学習で、思い込みなどから、人権差別につながっていくんだと思いました。

〔3組〕 血液型や星座、国や出身地なども性別の他に決めつけの要素があるのかなと思いました。また、YouTube などである「あるある」なんかも、決めつけなのかなと思いました。男女差別のように身の回りの決めつけについて、テレビやニュースなどで、もっと取り扱っ

たり、差別を受けた体験などを伝えていったら、少しずつなくなっていくのかなと思いました。男女差別は有名だけど、もっと深く考えてみたら身の回りにたくさんあって、それによって苦しめられている人もいるのかなと思いました。

〔4組〕 身の回りには、A型だから〇〇、B型だから〇〇とかあるけど、そういうのは関係ないことだと改めて思った。思い込みや偏見を言っている人は、インターネットを見て知ったとか、テレビを見て知ったとか言う人が、大半だと思うから、よく分からない情報とかを流すのは良くないと思った。まだ、世界ではたくさんの偏見や思い込みをしている人がたくさんいるけど、それで人生を左右するようなことはしないで欲しいと強く感じた。

〔5組〕 身の回りにある「決めつけ」は、部活や出身地、見た目があるのかなと自分は考えていたけど、みんなの意見を聞くと、「確かに」となる事がたくさんありました。私は「思い込み」や「偏見」を無くすことは、出来ないに近い「難しい」だと思います。なぜかという、A型は〇〇、B型は〇〇など多くの人に浸透しているからです。実際に、自分が言われたり、友だちとの話に出て来たり、自分自身も初対面の人を見た目で「こんな感じの人かな？」と決めつけてしまうことが多々あるからです。今日の授業で、普通に生活していると、全く気付かなかったけど、意外に「思い込み」や「偏見」はあるんだなと思いました。思い込みをするのはいいと思うけど、それを口にする事で、相手を傷つけてしまうような事は避けたいなと思いました。

〔6組〕 思い込みや偏見を無くすには、たくさん伝えることや、知ろうとする姿勢が必要だと思います。思い込みや偏見は文字通り、本当にそうだと「思って」いて、そうだと思うのは「見方が偏っている」からなので、私たちは、まさか、その考えが思い込みや偏見だと思っていないのです。だから、色々なことを色々な方向から知れば、少なくとも出来ると思いました。伝え方が広がった今の時代に、上手に色々な見方を伝えられる人々の社会になれば、いいなと思います。

〔7組〕 ずっと多数派がどうしても嫌でした。多勢の人が揃いも揃って決めつけて、当然そうあるべきものだと勝手に思い込んで、本物を見せせず、本物から本物を取り上げるということ自体が見ていて、とても不快でなりません。けど、多数派は多数であるからこそ、多数派なので、簡単には一度ついたイメージは拭えないし、覆すことなんか以ての外です。そりゃあ、意見がその人それぞれだし、様々な考えや好みはあっていいと思うけど、ただそれを好む人が多いからという理由で、そのイメージが定着していくのは、「これが当然だろ」と言われているようで腹が立ちます。